

兵庫県下の経済動向

平成26年11月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

| | |
|---------|----|
| 概 況 | 1 |
| 生 産 | 2 |
| 個 人 消 費 | 4 |
| 設 備 投 資 | 6 |
| 住 宅 投 資 | 8 |
| 公 共 工 事 | 9 |
| 貿 易 | 10 |
| 物 価 | 11 |
| 雇 用 | 13 |
| 信 用 保 証 | 15 |
| 金 融 | 16 |
| 倒 産 | 17 |

【概 況】

最近の県内景気は、一部弱めの動きがみられるものの、基調的には緩やかに回復している。個人消費は基調として緩やかに持ち直している。また、設備投資は拡大している。住宅投資は基調として堅調に推移しているものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が7か月連続で前年実績を下回った。

乗用車販売は、普通乗用車、および小型乗用車が減少し、2か月ぶりに前年を下回った。

家電販売は、弱めの動きがみられているが、基調として持ち直しつつある。

設備投資は、製造業、非製造業ともに増加しており、26年度は増加となる見込み。

住宅投資は、分譲住宅が増加したが、持家、貸家、給与住宅が減少し、全体では2か月連続で前年を上回った。

公共工事請負金額はその他の団体、国、独立行政法人等で著増となるも、神戸市を除く市町で大幅減、兵庫県で減少、神戸市で前年並みとなったことから、3か月連続で前年を下回った。

貿易は、輸出は中国を含むアジア、中国、米国、EU向けが増加し、7か月連続で前年を上回った。また、輸入については2か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、2か月ぶりに前年を上回った。

雇用関係では、有効求人倍率は、新規求人数ともに前年を上回った。

また、一人当り名目賃金は前年を上回り、常用労働者数同水準だったが、所定外労働時間は前年を下回った。

金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。

企業倒産は、件数は前年を下回ったが、負債金額は前年を上回った。

兵庫D I 及び兵庫C I から見た県内の景気動向

8月の兵庫D Iは、先行指数57.1%、一致指数44.4%、遅行指数25.0%となった。

8月の兵庫C Iは、先行指数98.1、一致指数115.1、遅行指数109.4となった。

兵庫D Iは、先行指数が6か月ぶりに50%を上回り、一致指数が6か月連続で50%を下回り、遅行指数が2か月連続で50%を下回る。

一方、兵庫C Iは、先行指数が2か月連続で前月差増、一致指数は4か月連続で前月差減、遅行指数は3か月ぶりに前月差増となった。

県統計課は基調判断を「兵庫C I一致指数は、足踏みを示している。」としている。

*兵庫D Iと兵庫C I・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫D I)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫C I)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

9月の県鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済、速報)は98.0、前月比0.9%増加。出荷指数は99.4、同2.6%増加。在庫指数は115.0、同0.4%増加。在庫率は112.4、同2.7%増加。生産指数在庫指数ともに2か月ぶりに、出荷指数は4か月ぶりに増加した。

前年同月比(原指数)では、生産は1.6%、出荷は3.4%増とともに12か月連続で上昇、在庫は5.9%減で9か月連続で低下した。

主要業種の生産動向を対前月比で見ると、開閉制御装置等の「電気機械工業」が21.5%、ガス風呂がま等の「金属製品工業」が11.8%、医薬品等の「化学工業」が7.2%、ショベル系掘削機械等の「はん用・生産用・業務用機械工業」が1.4%、H型钢等の「鉄鋼業」が0.4%各々上昇し、固定通信装置等の「情報通信機械工業」が0.5%、清酒等の「食料品工業」が2.4%、ガラス製容器類等の「窯業・土石製品工業」が2.5%、旅客車等の「輸送機械工業」が16.0%、各々下落した。

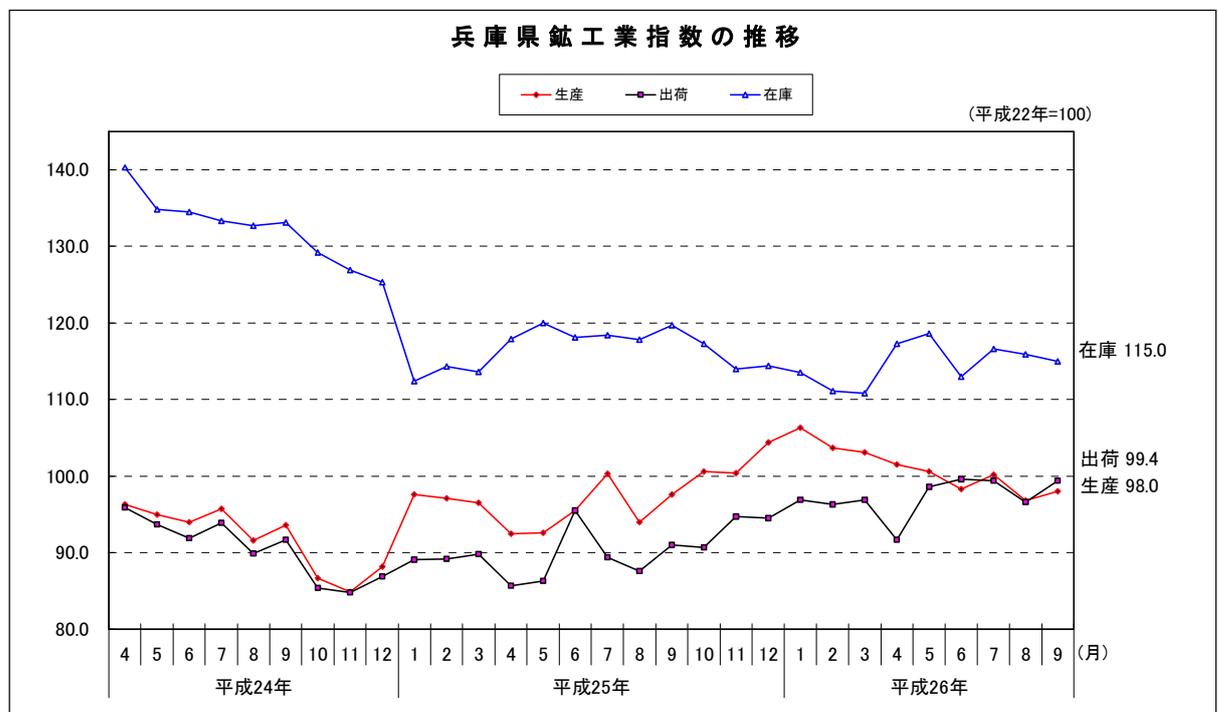
県統計課は、基調判断を「一部に弱い動きがみられる。」とした。

9月の兵庫県鉱工業指数

(速報、平成22年=100)

| 区 分 | | | 原 指 数 | |
|-------|-------------|----------------|-------|------------------|
| | 季節調整 済指数 | 対前月比 増減 (%) | | 対前年同月 比増減 (%) |
| 生 産 | 98.0 | 0.9 | 103.7 | 1.6 |
| 出 荷 | 99.4 | 2.6 | 105.5 | 3.4 |
| 在 庫 | 115.0 | 0.4 | 113.9 | ▲ 5.9 |
| 在 庫 率 | 112.4 | 2.7 | 111.5 | ▲ 4.2 |

資料：兵庫県企画県民部統計課



9月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成22年=100)

| 業 種 | 指 数 | 対前月比 増減 % | 指数の上昇又は低下に寄与した品目 | |
|---------------------------|-------|--------------|------------------|--|
| 鉄 鋼 | 100.9 | 0.4 | 上昇 | H形鋼、普通鋼冷延広幅帯鋼、鉄系鍛工品、普通鋼線材 |
| | | | 低下 | 亜鉛めっき鋼板、普通鋼鋼帯、特殊鋼熱間圧延鋼材、鋳鉄管 |
| 金属製品 | 100.8 | 11.8 | 上昇 | ガス風呂がま、ガス温水給湯暖房機、ガス湯沸器、石油温水給湯暖房機 |
| | | | 低下 | 超硬チップ、PC鋼より線、鉄くぎ、粉末や金製電気接点 |
| はん用・ 生産用・ 業務用 機械 | 86.2 | 1.4 | 上昇 | ショベル系掘削機械、反作用機器、プレス用金型、固定比減速機 |
| | | | 低下 | 蒸気タービン部品、建設用クレーン、熱交換器、ボイラ部品 |
| 電気機械 | 125.9 | 21.5 | 上昇 | 開閉制御装置、リチウムイオン蓄電池、アーク溶接機、電力変換装置 |
| | | | 低下 | 一般用タービン発電機、非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、工業用計測制御機器、避雷装置 |
| 情報通信 機械 | 129.6 | ▲0.5 | 上昇 | カーナビゲーション、携帯電話、ノート型パソコン、カーオーディオ |
| | | | 低下 | 固定通信装置、レーダ装置、無線位置測定装置、搬送装置 |
| 輸送機械 | 91.1 | ▲16.0 | 上昇 | 駆動伝導・操縦装置部品、特装ボデー、船用ディーゼル機関、機関部品 |
| | | | 低下 | 旅客車、特殊自動車、発動機部品、二輪自動車(125ml超) |
| 窯業・ 土石製品 | 106.8 | ▲2.5 | 上昇 | セメント、複層ガラス、安全ガラス、ファインセラミックス(構造材) |
| | | | 低下 | ガラス製容器類、ほうろう鉄器製品、タイル、空洞コンクリートブロック |
| 化 学 | 101.0 | 7.2 | 上昇 | 医薬品、化粧品、塩化ビニル(モノマー)、二塩化エチレン |
| | | | 低下 | アクリル酸エステル、自動車排気ガス浄化用触媒、複合肥料(化成肥料)、メタクリル酸エステル(モノマー) |
| 食 料 品 | 109.9 | ▲2.4 | 上昇 | 肉製品、乳飲料、冷凍調理食品、配合飼料 |
| | | | 低下 | 清酒、めん類、精米、パン類 |

資料：兵庫県企画県民部統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた10月の県内百貨店売上高は、前年同月比1.1%減の157億11百万円と7か月連続で前年実績を下回った。

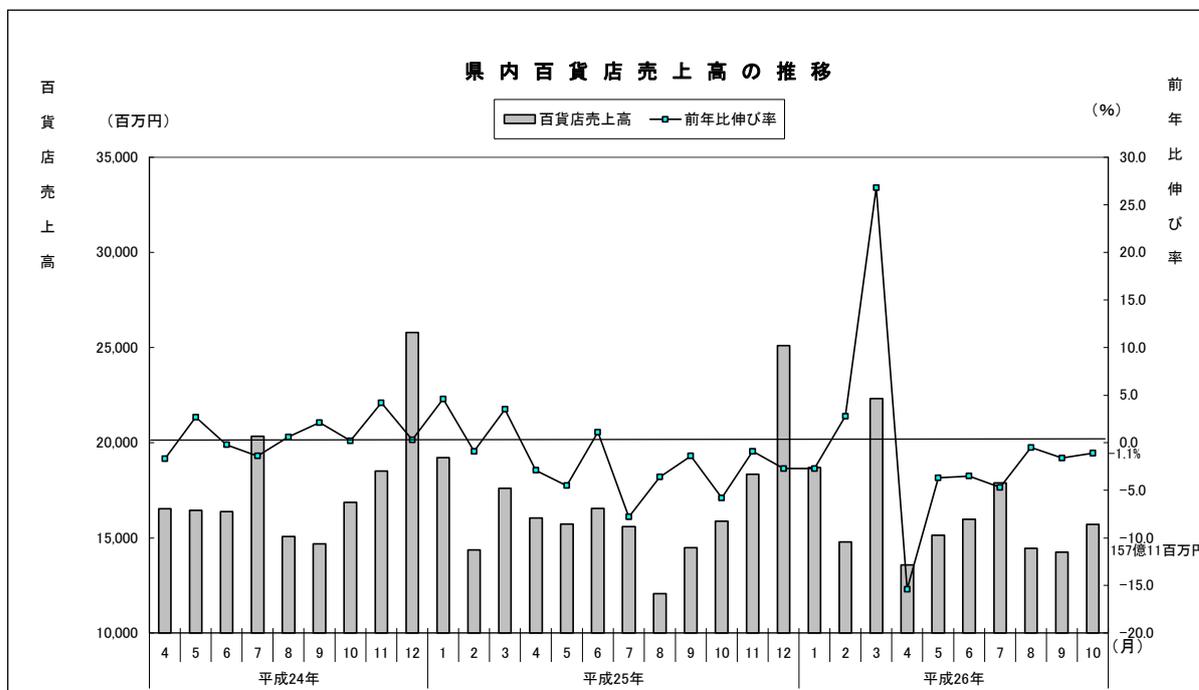
神戸地区は前年同月比0.7%減。全体ではマイナスだが、コートなどの冬物衣料は好調で、紳士服、婦人服はプラスだった。また、株高などの背景に富裕層の消費意欲は衰えず美術や宝飾、貴金属などの高額品では依然好調が続いている。

一方、姫路地区は前年同月比2.8%減。台風に加え消費税増税による消費低迷などで食品が苦戦。ヤマトヤシキの担当者は「増税による影響が厳しさを増している」と話していた。

10月の県内百貨店売上高

| 品目 | 神戸 | 姫路 | 合計 |
|--------|---------------|--------------|---------------|
| 紳士服・洋品 | 686(2.1) | 178(▲ 1.5) | 865(1.3) |
| 婦人服・洋品 | 4,317(3.0) | 664(0.5) | 4,982(2.7) |
| 子供服・洋品 | 305(▲ 9.8) | 91(▲ 6.8) | 397(▲ 9.1) |
| 身の回り品 | 1,200(▲ 11.7) | 258(▲ 0.6) | 1,459(▲ 9.9) |
| 雑貨 | 1,804(6.6) | 360(▲ 7.9) | 2,164(3.9) |
| 家庭用品 | 474(▲ 18.5) | 162(▲ 1.4) | 637(▲ 14.7) |
| 食料品 | 3,558(0.7) | 746(▲ 3.4) | 4,305(▲ 0.1) |
| その他 | 618(▲ 9.5) | 281(▲ 3.7) | 899(▲ 7.7) |
| 計 | 12,965(▲ 0.7) | 2,745(▲ 2.8) | 15,711(▲ 1.1) |

※ 単位百万円、百万円未満切捨て。()内は、前年同月比伸び率% 資料：兵庫県百貨店協会
 ※ 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内10月の乗用車新車登録台数は12,823台、前年同月比7.5%減と2か月ぶりにで前年同月の実績を下回った。

10月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は4,539台(前年同月比5.8%減)、小型乗用車は3,763台(同19.0%減)、軽乗用車は4,521台(同2.7%増)、乗用車合計で12,823台(同7.5%減)となった。

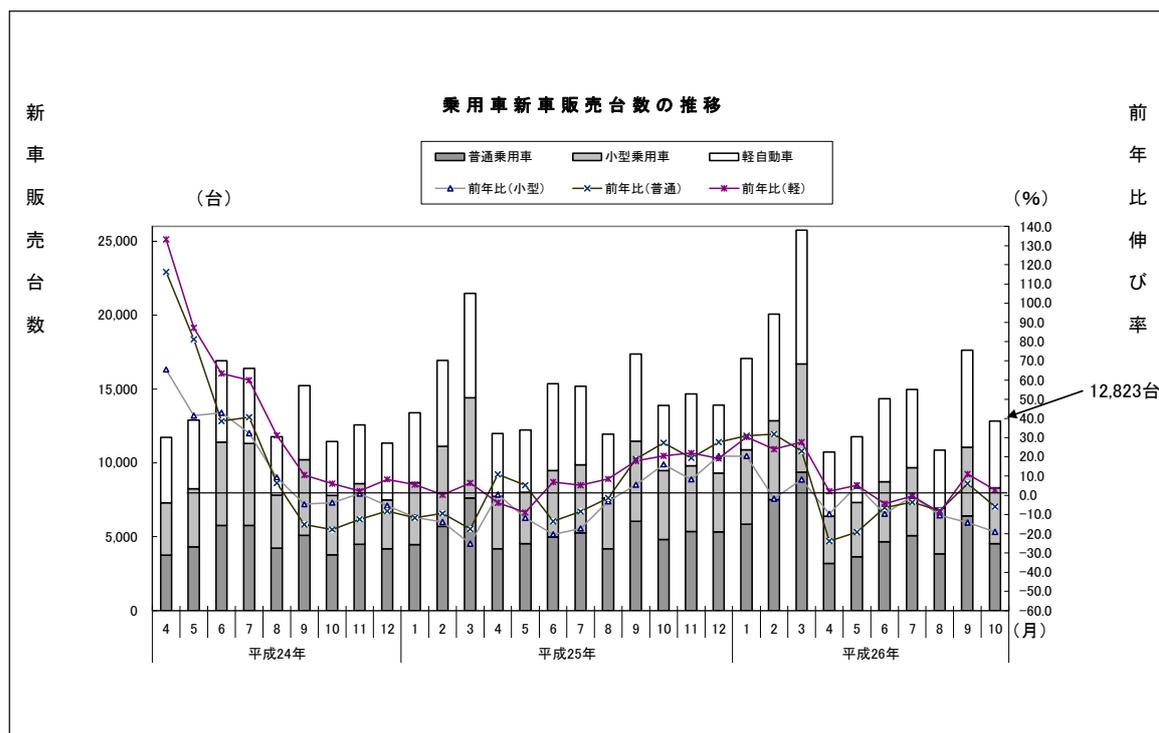
また貨物車等では、普通貨物車は248台(同12.1%減)、小型貨物車666台(同15.4%増)、軽貨物車は1,259台(同0.2%増)、バスは29台(同3.6%増)となった。

10月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

| 車種 | 兵庫県 | 前年同月比 | 全国 | 前年同月比 |
|--------------|---------------|--------------|----------------|--------------|
| 普通乗用車 | 4,539 | ▲ 5.8 | 102,415 | ▲ 6.2 |
| 小型乗用車 | 3,763 | ▲ 19.0 | 104,268 | ▲ 15.7 |
| 軽乗用車 | 4,521 | 2.7 | 121,626 | 0.1 |
| 乗用車合計 | 12,823 | ▲ 7.5 | 328,309 | ▲ 7.4 |
| 普通貨物車 | 248 | ▲ 12.1 | 12,090 | 6.8 |
| 小型貨物車 | 666 | 15.4 | 20,794 | 6.5 |
| 軽貨物車 | 1,259 | 0.2 | 34,348 | ▲ 3.3 |
| 貨物車合計 | 2,173 | 2.7 | 67,232 | 1.3 |
| バス | 29 | 3.6 | 944 | 15.4 |
| 登録車総計 | 15,025 | ▲ 6.2 | 396,485 | ▲ 6.0 |

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が11月13日に発表した機械受注統計によると、平成26年9月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、26年8月前月比2.2%減の後、26年9月は同8.0%増の2兆3,246億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、8月前月比4.7%増の後、9月は同2.9%増の8,316億円となった。

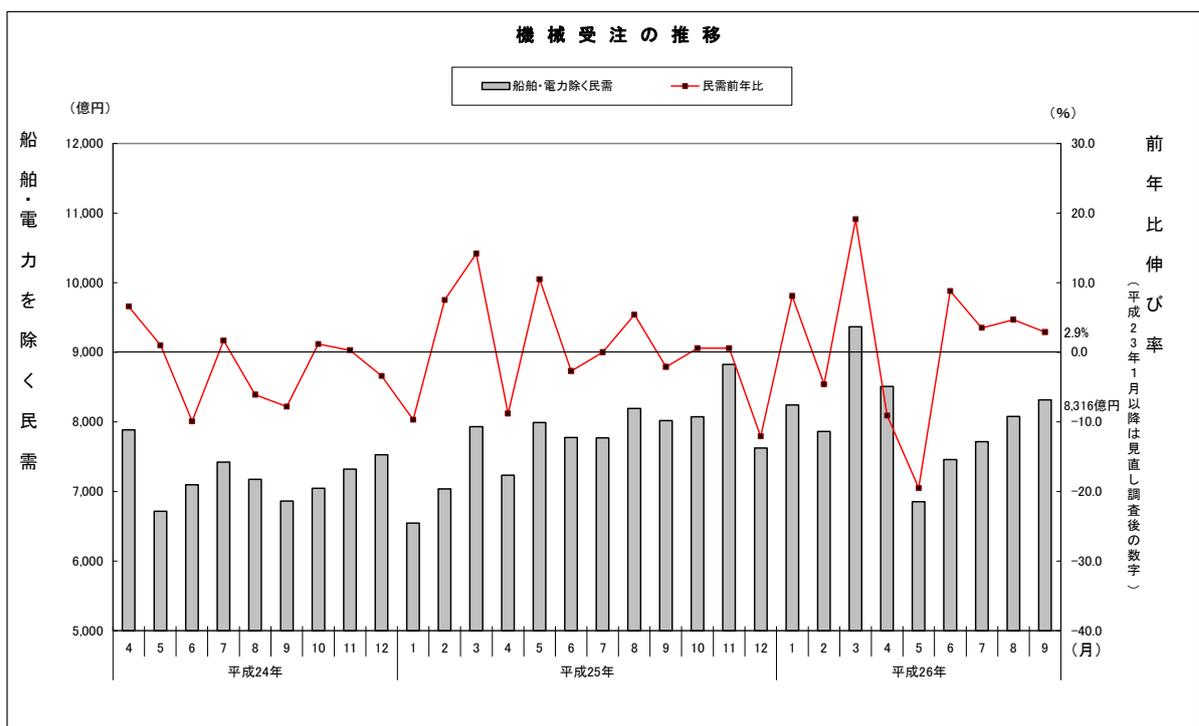
内訳をみると、製造業が同12.0%増の3,363億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同1.7%増の4,783億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、石油製品・石炭製品(492.1%増)、電気機械(46.1%増)、化学工業(24.3%増)、食品製造業(19.8%増)、自動車・同付属品(15.8%増)、精密機械(13.2%増)、その他輸送用機械(10.2%増)、パルプ・紙・紙加工品(6.6%増)、金属製品(4.8%増)、一般機械(4.7%増)等の10業種で情報通信機械(2.8%減)、「その他製造業」(4.1%減)、造船業(13.7%減)、鉄鋼業(16.7%減)、非鉄金属(30.5%減)等の5業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、電力業(79.6%増)、通信業(49.1%増)、不動産業(44.4%増)、情報サービス業(19.8%増)、卸売業・小売業(19.0%増)、運輸業・郵便業(9.7%増)、農林漁業(5.8%増)、金融業・保険業(5.8%増)、等の8業種で、「その他非製造業」(7.8%減)、建設業(10.4%減)、リース業(60.2%減)、鉱業・採石業・砂利採取業(68.6%減)等の4業種は減少となった。

兵庫県下においては、2014年度設備投資額は、製造業、非製造業ともに増加を見込んでおり、全産業でも増加計画。

*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2014年9月 ——兵庫県——
設備投資計画：全産業前年度比+14.3% (製造業+15.4%、非製造業+10.4%)



機械受注統計（平成26年9月分）

| | 25年 10～12月 実績 | 26年 1～3月 実績 | 4～6月 実績 | 7～9月 実績 | 10～12月 見通し | 26年 6月 実績 | 7月 実績 | 8月 実績 | 9月 実績 |
|------------------|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 受注総額 | 65,764 (-0.2) [15.9] | 68,594 (4.3) [10.8] | 78,446 (14.4) [26.9] | 66,785 (-14.9) [0.7] | 72,833 (9.1) [11.1] | 25,451 (17.1) [30.3] | 22,013 (-13.5) [6.1] | 21,527 (-2.2) [0.4] | 23,246 (8.0) [-2.4] |
| 民 需 | 28,822 (2.0) [14.0] | 30,577 (6.1) [18.5] | 27,527 (-10.0) [2.1] | 28,930 (5.1) [3.5] | 30,206 (4.4) [9.4] | 8,513 (0.5) [-4.9] | 9,906 (16.4) [7.0] | 8,678 (-12.4) [-8.2] | 10,346 (19.2) [9.0] |
| 〃 (Ex 船・電) | 24,442 (1.9) [13.3] | 25,474 (4.2) [16.4] | 22,824 (-10.4) [-0.4] | 24,110 (5.6) [2.4] | 24,049 (-0.3) [1.6] | 7,458 (8.8) [-3.0] | 7,717 (3.5) [1.1] | 8,078 (4.7) [-3.3] | 8,316 (2.9) [7.3] |
| 製造業 | 9,829 (2.0) [14.8] | 10,213 (3.9) [22.1] | 9,343 (-8.5) [4.1] | 10,523 (12.6) [10.2] | 10,243 (-2.7) [7.8] | 3,024 (6.7) [-1.3] | 3,639 (20.3) [13.4] | 3,246 (-10.8) [2.5] | 3,637 (12.0) [13.4] |
| 非製造業 (Ex 船・電) | 15,052 (4.9) [12.4] | 14,898 (-1.0) [11.8] | 13,905 (-6.7) [-3.1] | 13,737 (-1.2) [-2.7] | 13,907 (1.2) [-2.4] | 4,441 (4.0) [-4.1] | 4,250 (-4.3) [-7.4] | 4,704 (10.7) [-7.0] | 4,783 (1.7) [3.5] |
| 官 公 需 | 9,197 (8.8) [34.0] | 7,196 (-11.5) [-9.1] | 9,374 (30.3) [11.8] | 7,708 (-17.8) [-19.7] | 7,738 (0.4) [12.2] | 2,766 (-24.0) [6.4] | 3,024 (9.3) [6.1] | 2,119 (-29.9) [-22.8] | 2,565 (21.0) [-28.5] |
| 外 需 | 25,814 (-4.4) [18.4] | 27,499 (6.5) [12.8] | 39,111 (42.2) [61.0] | 28,268 (-27.7) [3.7] | 30,703 (8.6) [11.8] | 14,226 (62.8) [87.5] | 8,169 (-42.6) [4.4] | 10,547 (29.1) [14.9] | 9,552 (-9.4) [-4.7] |
| 代 理 店 | 3,076 (6.7) [16.2] | 2,833 (-7.9) [-6.3] | 3,037 (7.2) [13.0] | 3,145 (3.6) [9.0] | 3,718 (18.2) [17.8] | 1,041 (3.1) [7.9] | 1,065 (2.3) [11.3] | 1,027 (-3.6) [5.3] | 1,053 (2.5) [10.0] |

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内9月の新設住宅着工戸数は、総数で2,948戸(前年同月比6.9%増)となり、分譲住宅が増加したが、持家、貸家、給与住宅が減少し、全体では前年を上回った。また、前月比では1,219戸の減少となった。

9月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

| | 兵庫県 | 前年同月比 | 全国 | 前年同月比 |
|-----------|--------------|--------|---------------|---------------|
| 持家系・持家 | 889 | ▲ 14.6 | 24,617 | ▲ 23.4 |
| ・分譲住宅 | 1,161 | 51.8 | 20,296 | ▲ 15.3 |
| 貸家系・貸家 | 886 | ▲ 5.5 | 30,082 | ▲ 5.7 |
| ・給与住宅 | 12 | ▲ 20.0 | 887 | 61.0 |
| 総数 | 2,948 | 6.9 | 75,882 | ▲ 14.3 |

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

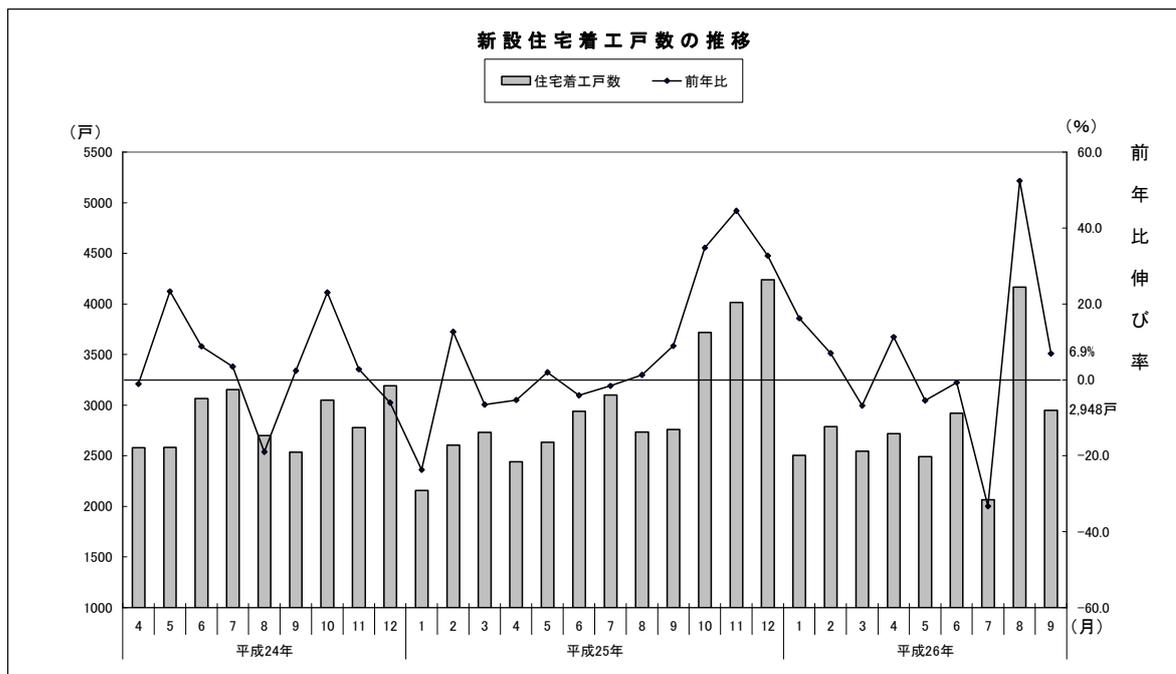
9月の地域別着工戸数

(戸)

| 地域 | 神戸 | 阪神南 | 阪神北 | 東播磨 | 北播磨 | 中播磨 | 西播磨 | 但馬 | 丹波 | 淡路 | 計 |
|-----|-------|------|-----|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|
| 戸数 | 678 | 914 | 324 | 378 | 101 | 367 | 77 | 45 | 14 | 50 | 2,948 |
| 前月比 | -64.7 | 22.0 | 5.9 | -26.2 | 34.7 | -14.8 | 32.8 | -26.2 | -58.8 | 127.3 | -29.3 |

資料：兵庫県住宅政策課

平成26年9月の新設住宅着工累計は、総数で2,948戸、前年同期比1,219戸の減少となった。利用関係別では「持家」が889戸(前年同期比14.6%減)、「貸家」が886戸(同5.5%減)、「分譲住宅」が1,161戸(同51.8%増)、「給与住宅」が12戸(同20.0%減)となった。



【公共工事】

10月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は557件で前年同月比9.7%の減少、請負金額は344億円で同5.4%の減少となり、金額ベースでは2か月連続で前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「その他の団体」前年同月比311.7%、「国」同59.9%、「独立行政法人等」同52.0%の増加となったが「神戸市」同▲0.8%、「兵庫県」同▲9.0%、「神戸市を除く市町」同▲44.0%減少となり、前年同月を下回った。

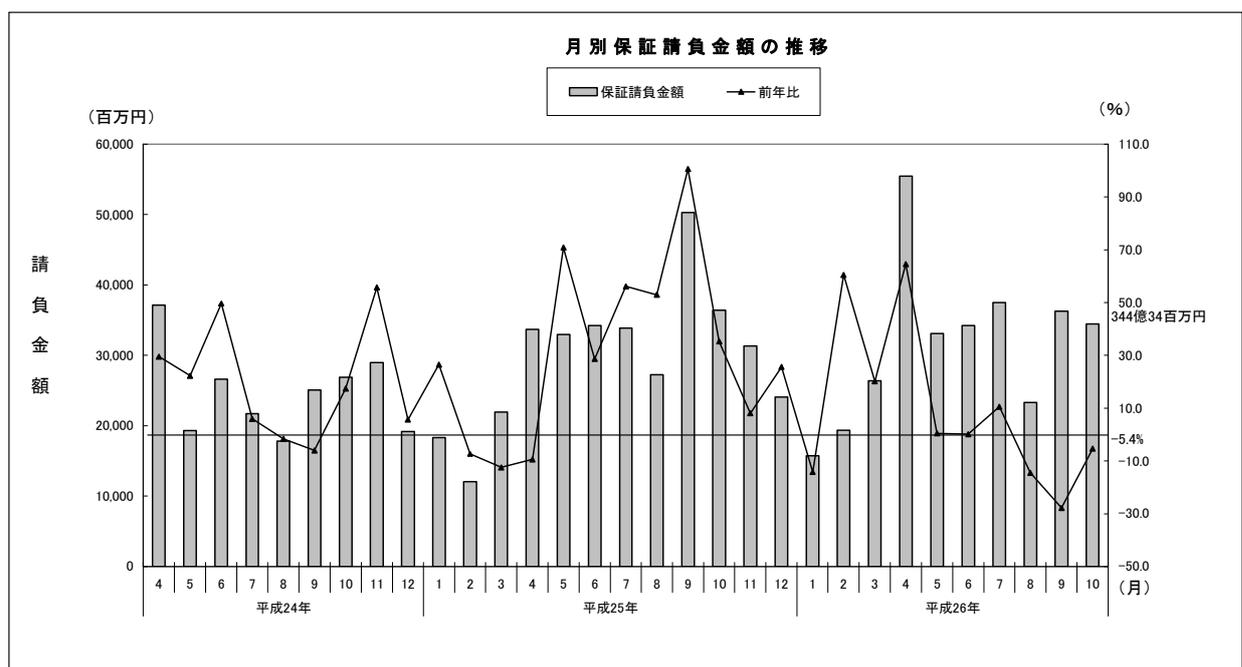
地域別(金額ベース)では、淡路(前年同月比60.3%)、東播磨(同49.3%)、西播磨(同28.2%)、丹波(同23.9%)、神戸市(同21.4%)、中播磨(同1.4%)が増加となり、北播磨(同▲20.4%)、阪神南(同▲34.8%)、但馬(同▲37.3%)が減少となり、前年同月を下回った。

10月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

| 発注者 | 件数 | 金額(百万円) | 大型工事明細(5億円以上) |
|----------|------------|---------------|---|
| 国 | 23(▲17.9) | 3,311(59.9) | |
| 独立行政法人等 | 17(21.4) | 3,359(52.0) | 中国自動車道神戸高速道路事務所管内舗装補修工事 |
| 兵庫県 | 199(▲9.1) | 8,801(▲9.0) | 河高潮播磨第6556-2-1号(二)八家川水系八家川八家川排水機場機械設備工事 地改(国)第5001-1-003号(国)178号浜坂道路大庭大橋上部工事 地改(国)第6001-1-001号(国)178号浜坂道路対田第3・二日市トンネル工事 |
| 神戸市 | 61(7.0) | 3,724(▲0.8) | 26C6-004垂水処理場特高受変電設備工事 26A3-003(仮称)浜崎通住宅建設工事 25D1-042神戸三田線(有馬口工区)街路築造工事 |
| 神戸市を除く市町 | 214(▲19.9) | 9,722(▲44.0) | |
| その他の団体 | 43(34.4) | 5,515(311.7) | 尼崎市東部浄化センター水処理設備工事その2 尼崎市東部浄化センター建設工事その2 (仮称)舞多聞小学校校舎新築工事 |
| 合計 | 557(▲9.7) | 34,434(▲5.4) | |

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成 26 年 10 月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は 7,867 億円、前年同月比 10.0%の増加で、総額ベースで 20 か月連続して増額となった。輸出は、科学光学機器などが増加したものの、船舶などが減少した。一方、輸入は、輸送用機器などが増加したものの、半導体等電子部品などが減少した。

輸出は 5,039 億円(前年同月比 11.8%増)と 7 か月連続で増加した。

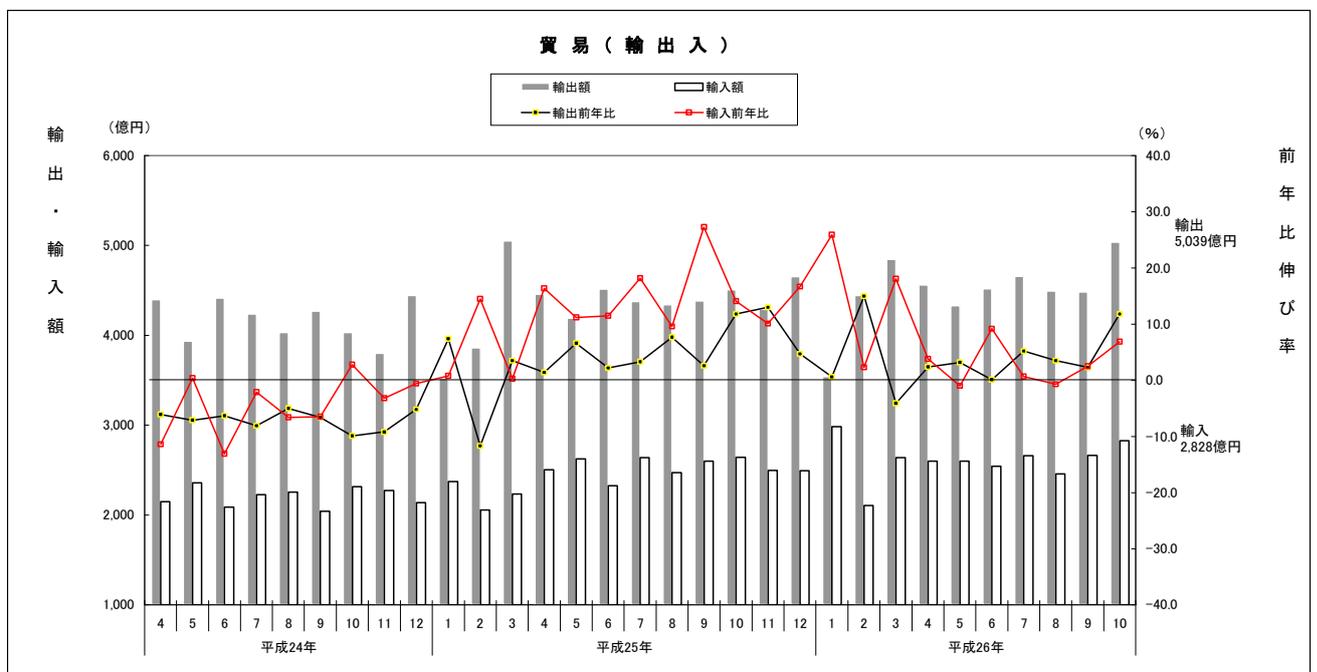
主要品目では、建設用・鉱山用機械(前年同月比 28.7%増、3 か月連続プラス)、プラスチック(同 16.5%増、4 か月連続プラス)、織物用糸及び繊維製品(同 9.8%増、2 か月連続プラス)が増加、原動機(同 11.9%減、2 か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(同 23.0%増、2 か月連続プラス)、アジア(中国含む)(同 7.3%増、2 か月連続プラス)、EU(同 6.2%増、2 か月ぶりにプラス)、中国(同 6.1%増、3 か月連続プラス)が増加した。

輸入は 2,828 億円(前年同月比 6.9%増)と 2 か月連続プラス。

主要品目では、有機化合物(前年同月比 38.0%増、2 か月ぶりにプラス)、たばこ(同 5.4%増、18 か月ぶりにプラス)、衣類および同付属品(同 3.3%増、2 か月連続プラス)、非鉄金属(同 2.2%増、6 か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(中国含む)(前年同月比 9.9%増、2 か月連続プラス)、中国(同 5.5%増、2 か月連続プラス)、EU(同 0.1%増、3 か月ぶりにプラス)が増加、米国(同 4.1%減、3 か月ぶりにマイナス)が減少した。



【物 価】『消費者物価』

10月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が103.1(平成22年=100)となり、前月比は0.4%減少、前年同月比は、2.4%上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は103.1となり、前月比は変わらず、前年同月比は2.3%上昇となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は101.7となり、前月比は0.1%上昇、前年同月比は2.1%上昇となった。

前月からの動きを見ると、教養娯楽サービスなどの上昇により「教養娯楽」が0.4%、身の回り用品などの上昇により「諸雑費」が0.3%、シャツ・セーター・下着類などの上昇により「被服及び履物」が0.3%上昇したが、野菜・海藻などの下落により「食料」が1.8%、ガス代などの下落により「光熱・水道」が0.4%下落した。

10月の神戸市消費者物価指数(速報)

| | 総合 | 食料 | 住居 | 光熱水道 | 家具 家事用品 | 被服及 履物 | 保健 医療 | 交通 通信 | 教育 | 教養 娯楽 | 諸雑費 | 生鮮食品を 除く総合 | 食料・エネ ルギーを 除く総合 |
|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-----------|----------|----------|-------|----------|-------|---------------|-----------------------|
| 指 数 | 103.1 | 100.9 | 101.7 | 120.5 | 102.4 | 105.3 | 98.8 | 103.3 | 101.9 | 99.5 | 108.2 | 103.1 | 101.7 |
| 前月比 | -0.4 | -1.8 | 0.0 | -0.4 | 0.4 | 0.3 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.4 | 0.3 | 0.0 | 0.1 |
| 前年同月比 | 2.4 | 2.2 | 0.3 | 4.1 | 6.1 | 2.6 | 1.3 | 3.0 | 0.9 | 5.1 | 2.1 | 2.3 | 2.1 |

(注)平成22年=100

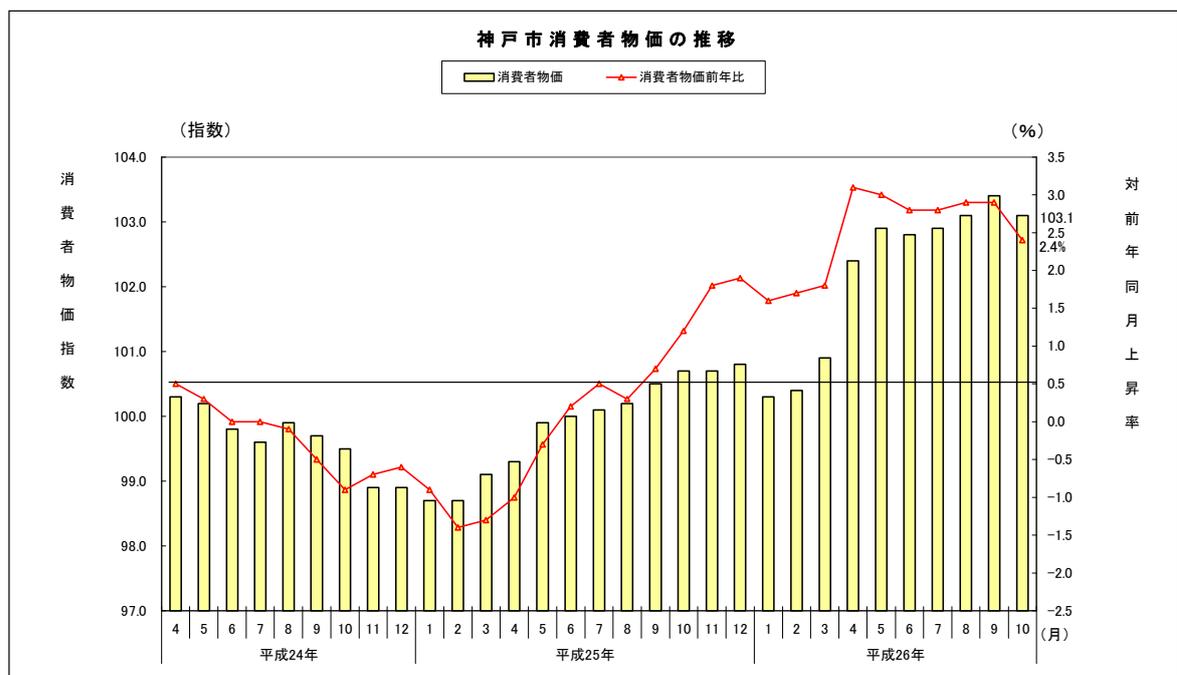
資料：兵庫県統計課

○対前月比値上がりした主な品目

教養娯楽サービス (+ 0.9%)・・・美術館入館料、宿泊料
身の回り用品 (+ 1.1%)・・・旅行用かばん

○対前月比値下がりした主な品目

野菜・海藻 (▲ 10.2%)・・・レタス、はくさい
ガス代 (▲ 0.7%)・・・都市ガス代



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が11月13日に発表した、企業物価指数(速報)による2014年10月の企業物価指数は次のとおり。

10月の企業物価指数

(速報、2010年=100)

| | 指 数 | 前月比(%) | 前年同月比(%) |
|---------|-------|--------|----------|
| 国内企業物価 | 105.5 | -0.8 | 2.9 |
| 輸 出 物 価 | 111.0 | -0.2 | 4.0 |
| 輸 入 物 価 | 128.2 | -1.1 | 4.3 |

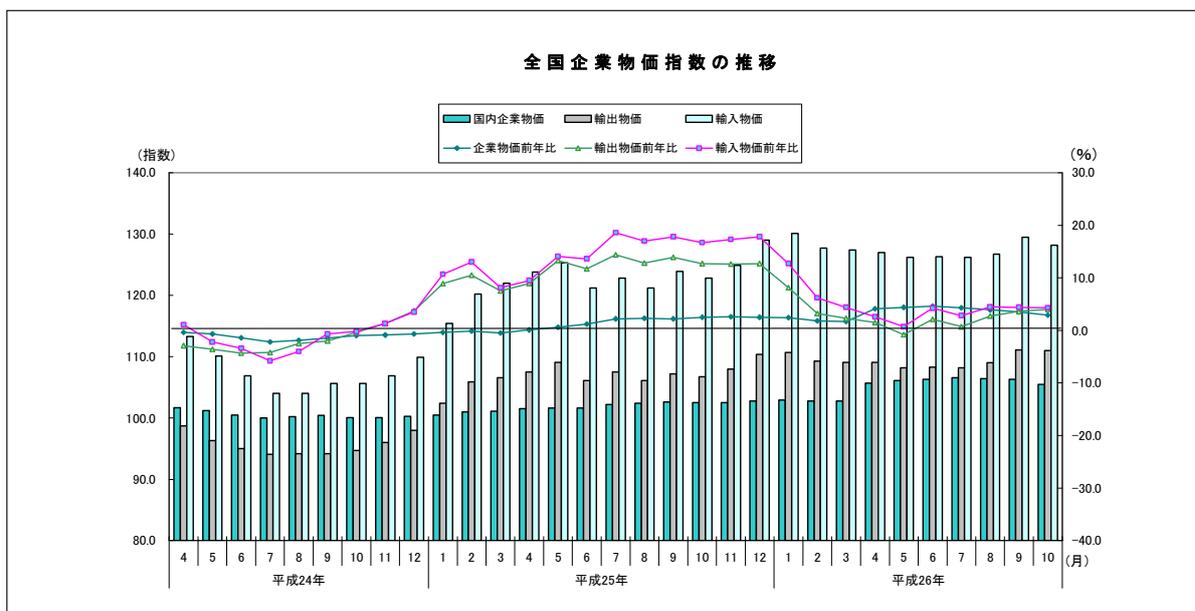
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、食料品・飲料・たばこ・飼料(前月比-0.3%<配合飼料など>)、鉄鋼(同-0.4%<鉄鋼切断品(薄板)など>)、化学製品(同-0.9%<プロピレン>など)、農林水産物(同-2.1%<精米など>)、石油・石炭製品(同-3.7%<ガソリンなど>)、電力・都市ガス・水道(同-4.0%<業務用高圧電力など>)、スクラップ類(同-4.8%<鉄くずなど>)などが下落した。全体では前月比-0.8%となった。

10月は105.5と前年同月比で2.9%上昇した。消費税を除く国内企業物価指数は102.6で前月比0.8%減少、前年同月比0.1%上昇した。

輸出物価は、輸送用機器(前月比+0.3%<シャシー・車体構成部品など>)、はん用・生産用・業務用機器(同+0.0%<掘さく機など>)等が上昇し、その他製品・製品(同-0.7%<C重油など>)、化学製品(同-0.7%<パラキシレンなど>)、金属・同製品(同-1.9%<鉄くずなど>)等が減少し、円ベースでは前月比0.8%の減少(前年同月比2.9%増加)となった。

輸入物価は、食料品・飼料(前月比+0.1%<豚肉など>)等が上昇し、化学製品(同-0.3%<酸化チタンなど>)、石油・石炭・天然ガス(同-2.3%<原油など>)、金属・同製品(同-3.8%<鉄鉱石など>)などが減少し、円ベースでは前月比1.1%の減少(前年同月比4.3%増加)となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内9月の新規求人数(全数)は、30,456人(前年同月比9.9%増)で、15か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は81,186人(同9.0%増)で53か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比6.9%増で15か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同17.4%増で10か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同9.9%減で3か月連続して前年を下回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比7.1%増)、製造業(同4.3%増)、運輸業、郵便業(同5.4%増)、卸売業、小売業(同3.5%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同0.1%増)、宿泊業、飲食サービス業(同42.4%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同10.0%増)、医療、福祉(同12.3%増)、サービス業(同15.7%増)となり、全て前年を上回った。

(2) 求職状況

9月の新規求職申込件数(全数)は21,503件(前年同月比3.7%減)で3か月連続して前年を下回った。

また、月間有効求職者数(全数)は89,282人(同6.0%減)で52か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比3.6%減で3か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同0.2%増で3か月ぶりに前年上回った。また、臨時・季節については、前年同月比35.2%減で2か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比5.5%増で前年を上回り、自己都合離職者は同4.8%減で3か月連続して減少した。事業主都合離職者は同13.5%減で20か月連続、自営・他は同17.3%減で40か月連続、無業者は同1.8%減で33か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、24,124人(前年同月比4.6%減)で、20か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

9月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.39倍(前月比0.00ポイント増)で前月と同水準、有効求人倍率については0.90倍(前月比0.01ポイント増)で前月を上回った。

(4) 失業者の状況

9月の全国の完全失業率(季節調整値)は3.6%、完全失業者数(原数値)は233万人(前年同月比25万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は4.1%(前年同月と同水準)で、完全失業者数(原数値)は42万人(前年同月と同水準)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

| | 全 産 業 | 建 設 業 | 製 造 業 | 情 報 通 信 業 | 運 輸 ・ 郵 便 業 | 卸 売 ・ 小 売 業 | 金 融 ・ 保 険 業 | 不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業 | 学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業 | 宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業 | 生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業 | 医 療 ・ 福 祉 | サ ー ビ ス 業 |
|-------|-------------|-------------|-------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|---|---|--|--|-----------------------|-----------------------|
| 26年9月 | 30,456 | 2,314 | 4,155 | 255 | 1,525 | 4,416 | 142 | 627 | 740 | 2,746 | 1,112 | 7,805 | 3,856 |
| 前年同月比 | 9.9 | 7.1 | 4.3 | ▲17.7 | 5.4 | 3.5 | ▲11.3 | 20.1 | 0.1 | 42.4 | 10.0 | 12.3 | 15.7 |

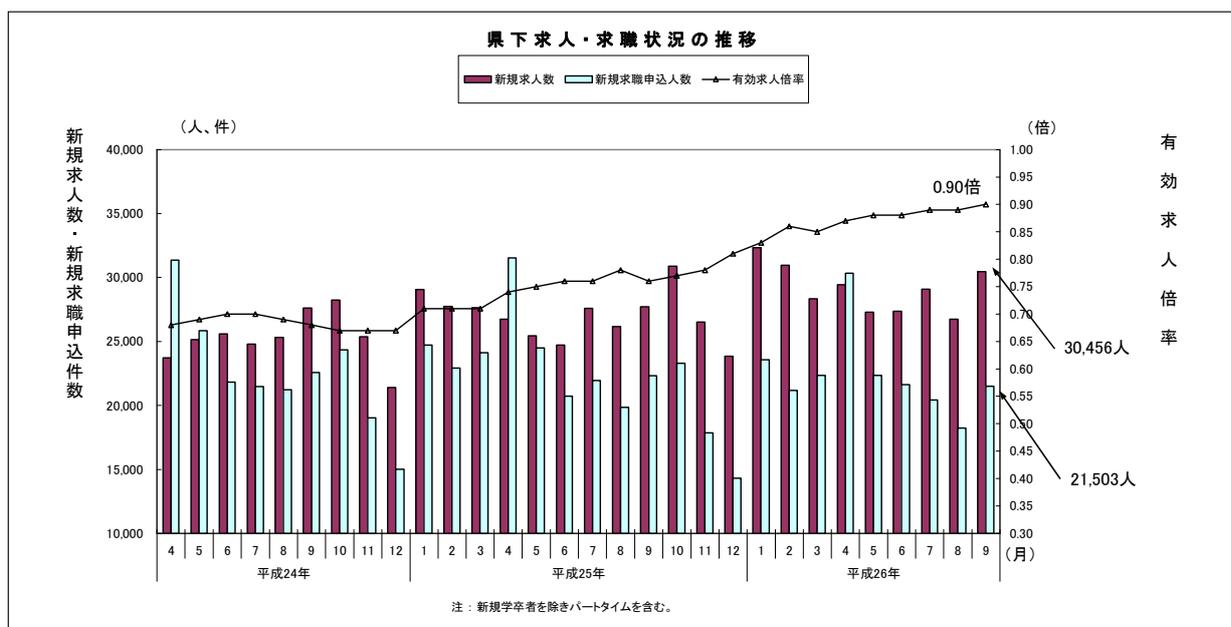
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

| 項 目 ・ 年 月 | 13/7-9 | 13/10-12 | 14/1-3 | 14/4-6 | 14/7 | 14/8 | 14/9 |
|----------------------------------|--------|----------|--------|--------|------|------|------|
| 有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍) | 0.77 | 0.80 | 0.85 | 0.88 | 0.89 | 0.89 | 0.90 |
| 新 規 求 人 数 (原数値、前年比%) | 4.8 | 8.3 | 8.5 | 9.3 | 5.5 | 2.2 | 9.9 |
| 所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%) | 1.8 | 5.8 | 12.5 | 9.5 | 2.1 | ▲2.0 | ▲1.0 |
| 常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%) | ▲0.4 | 0.1 | 0.4 | ▲0.1 | ▲0.5 | ▲0.4 | 0.0 |
| 一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%) | ▲1.6 | ▲0.8 | ▲0.2 | 1.2 | ▲0.3 | 0.0 | 0.2 |

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部



【信用保証】

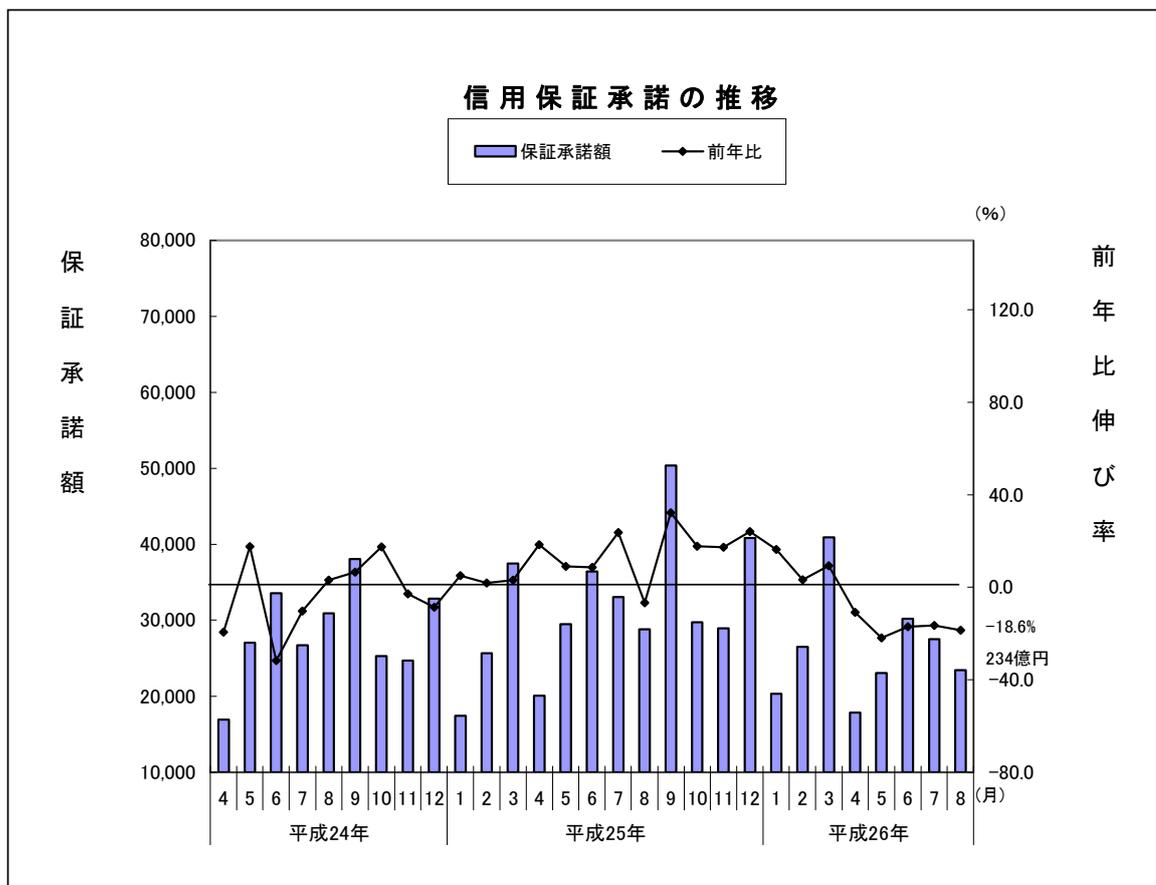
兵庫県信用保証協会による9月の保証承諾実績は、件数で2,274件(前年同月比11.3%減)、金額は384億76百万円(同23.6%減)となり、件数、金額ともに前年実績を下回った。

資金使途別では、運転資金35,811百万円(前年同月比25.3%減)、設備資金1,025百万円(43.2%増)となり、運転資金は前年同月を下回り、設備資金は前年同月を上回った。

業種別(金額ベース)では、「飲食店」1,052百万円(前年同月比5.1%増)、「運送・倉庫業」2,632百万円(同2.9%増)等で前年同月を上回り、「製造業」7,944百万円(同14.4%減)、「小売業」4,410百万円(同16.9%減)、「卸売業」7,650百万円(同27.0%減)、「建設業」8,959百万円(同32.3%減)、「サービス業」4,020百万円(同32.3%減)、「不動産業」1,215百万円(同43.5%減)等で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、212件(前年同月比11.0%増)、29億21百万円(同14.1%増)となった。

9月末の保証債務残高は、98,985件(前年同月比4.2%減)、1兆1,187億38百万円(同5.8%減)となった。



【金 融】

9月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

| | 預 金 | 前年同月比 | 貸 出 | 前年同月比 |
|-------------|---------|-------|---------|-------|
| 都 市 銀 行 等 | 148,171 | 1.8 | 54,014 | ▲ 1.8 |
| 地 方 銀 行 | 25,810 | 2.3 | 22,798 | 5.0 |
| 第 二 地 方 銀 行 | 33,211 | 2.9 | 21,474 | 4.1 |
| 信 用 金 庫 | 81,912 | 1.9 | 37,889 | 0.8 |
| そ の 他 | 17,483 | ▲ 2.0 | 17,605 | ▲ 0.9 |
| 計 | 306,587 | 1.8 | 153,780 | 0.9 |

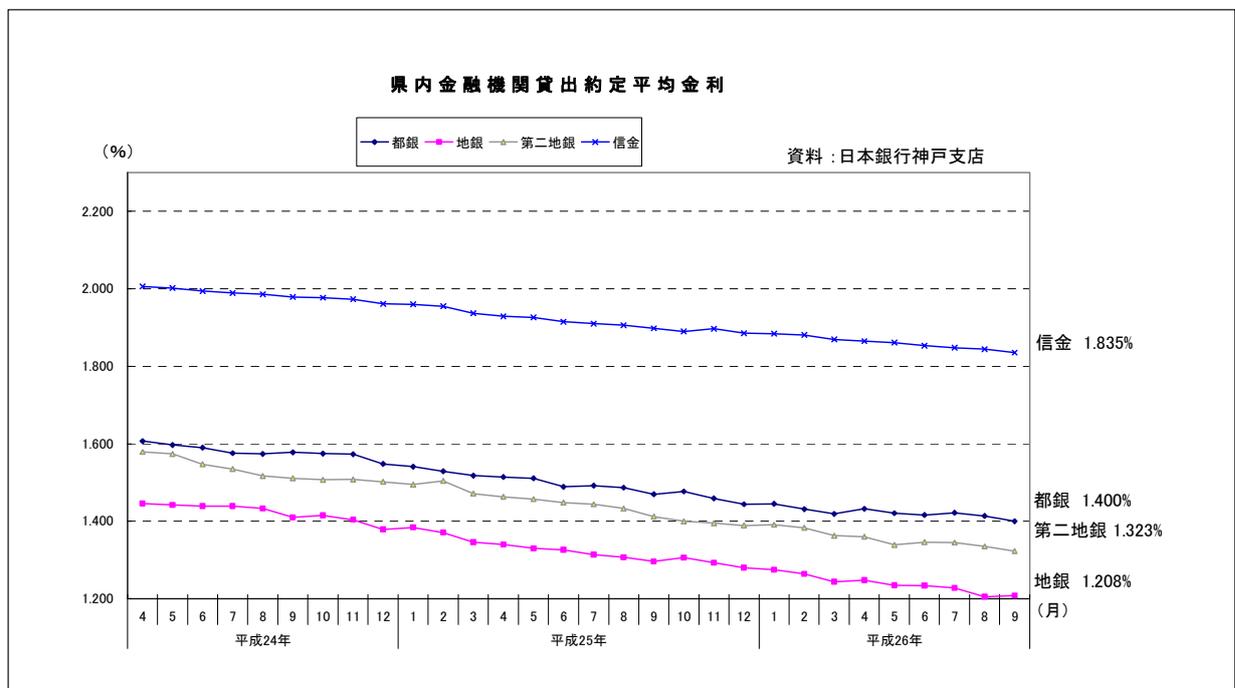
・都銀等=都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他=信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

9月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比+1.8%)

9月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比+0.9%)

9月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(9月末水準 1.507%、前月比▲0.011%ポイント)。



【倒 産】

県内10月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は42件で前年同月比14.28%の減少、負債総額は67億60百万円で同43.09%の増加となった。

倒産件数は、前月比7件(14.28%)の減少。前年同月比では7件(14.28%)の減少となった。なお、10月単月では過去10年間(平成17年以降)では最少、平成26年に入ってから4番目に少ない件数であった。

倒産件数は当月も「小規模倒産」が見られたが、一方で負債額1億円以上5億円未満が15件発生するなど、やや規模の大きな倒産が見受けられたことは、今後、留意していく必要があると見られる。

原因別(件数)では、「販売不振」を中心とする「不況型倒産」が36件(全体の85.7%)を占めた。

業種別(件数)では、「建設業」が8件(前年前月比8件減少)でトップであった。

「資本金別」では、「個人企業他」を含めた資本金1,000万円未満までの倒産が25件発生し、全体の59.5%を占めた。

「産業別」では、「サービス業」が13件でトップとなった。

円安基調に伴う原材料関連価格の高値圏推移や労務費高などの外部環境は依然として中小・零細企業を主体に先行きに関しても厳しさが続いている為、倒産が増加する可能性を内包しつつも、「小規模倒産」を中心とした推移が今しばらくは続くものと見られる。

10月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

| 原因別 | | | | | | 業種別 | | | | | |
|--------|----|----|-----|----|-----|----------|----|----|-----|----|-----|
| | 当月 | 前月 | 前月比 | 前年 | 前年比 | | 当月 | 前月 | 前月比 | 前年 | 前年比 |
| 放漫経営 | 0 | 0 | 0 | 6 | -6 | 建設業 | 8 | 9 | -1 | 16 | -8 |
| 過小資本 | 3 | 4 | -1 | 5 | -2 | 製造業 | 5 | 6 | -1 | 6 | -1 |
| 連鎖倒産 | 2 | 2 | 0 | 1 | 1 | 卸売業 | 5 | 8 | -3 | 8 | -3 |
| 赤字累積 | 2 | 4 | -2 | 7 | -5 | 小売業 | 6 | 3 | 3 | 7 | -1 |
| 販売不振 | 34 | 39 | -5 | 30 | 4 | 情報通信業 | 0 | 2 | -2 | 0 | 0 |
| 売掛金回収難 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | サービス業 | 13 | 20 | -7 | 10 | 3 |
| その他 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 不動産・運輸業他 | 5 | 1 | 4 | 2 | 3 |
| 合計 | 42 | 49 | -7 | 49 | -7 | 合計 | 42 | 49 | -7 | 49 | -7 |

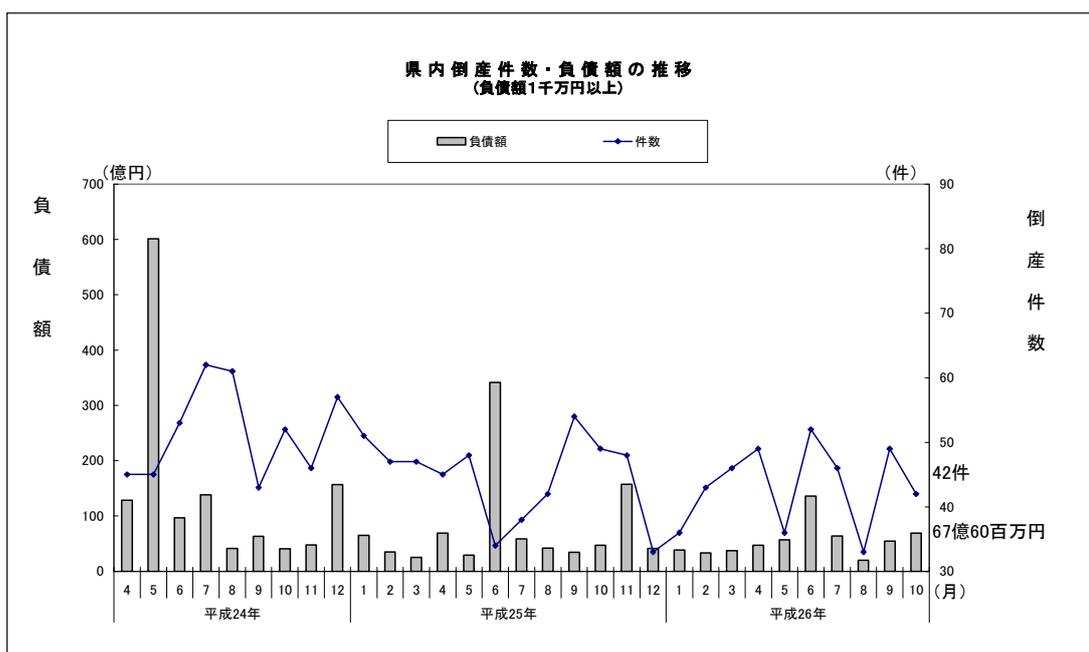
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額 1,000 万円以上)

(単位: 件数)

| 年 月 | 総数 | 神戸 | 阪神 | 西播 | 東播 | 但馬 | 丹波 | 淡路 |
|---------|------|------|------|-----|------|-----|-----|-----|
| 19年 平均 | 59.3 | 21.3 | 13.6 | 8.3 | 11.3 | 1.8 | 1.3 | 1.7 |
| 20年 平均 | 62.3 | 20.6 | 19 | 7.9 | 10.6 | 1.8 | 1.3 | 1.1 |
| 21年 平均 | 62.6 | 21.6 | 18.5 | 9.8 | 9.1 | 0.9 | 1.1 | 1.6 |
| 22年 平均 | 60.8 | 20.8 | 20.6 | 9 | 6.9 | 1.4 | 0.7 | 1.4 |
| 23年 平均 | 52.2 | 15.2 | 17.2 | 7.9 | 8.7 | 1.3 | 1 | 0.9 |
| 24年 平均 | 51.9 | 16 | 19.4 | 5.7 | 6.7 | 1.3 | 0.6 | 2.3 |
| 25年 1月 | 51 | 13 | 19 | 8 | 3 | 5 | 2 | 1 |
| 25年 2月 | 47 | 9 | 21 | 10 | 6 | 0 | 1 | 0 |
| 25年 3月 | 47 | 16 | 15 | 5 | 8 | 0 | 0 | 3 |
| 25年 4月 | 45 | 13 | 18 | 5 | 7 | 0 | 0 | 2 |
| 25年 5月 | 48 | 19 | 20 | 2 | 3 | 2 | 1 | 1 |
| 25年 6月 | 34 | 9 | 9 | 6 | 9 | 1 | 0 | 0 |
| 25年 7月 | 38 | 17 | 7 | 7 | 4 | 2 | 0 | 1 |
| 25年 8月 | 42 | 14 | 14 | 7 | 6 | 1 | 0 | 0 |
| 25年 9月 | 54 | 19 | 10 | 11 | 9 | 3 | 1 | 1 |
| 25年 10月 | 49 | 17 | 11 | 11 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 25年 11月 | 48 | 20 | 15 | 3 | 8 | 0 | 0 | 2 |
| 25年 12月 | 33 | 14 | 6 | 5 | 7 | 1 | 0 | 0 |
| 26年 1月 | 36 | 11 | 6 | 10 | 6 | 2 | 1 | 0 |
| 26年 2月 | 43 | 17 | 8 | 6 | 11 | 1 | 0 | 0 |
| 26年 3月 | 46 | 23 | 11 | 9 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| 26年 4月 | 49 | 18 | 15 | 10 | 4 | 2 | 0 | 0 |
| 26年 5月 | 36 | 13 | 14 | 4 | 2 | 2 | 1 | 0 |
| 26年 6月 | 52 | 20 | 17 | 6 | 6 | 2 | 0 | 1 |
| 26年 7月 | 46 | 19 | 14 | 4 | 1 | 2 | 1 | 5 |
| 26年 8月 | 33 | 8 | 11 | 5 | 7 | 0 | 0 | 2 |
| 26年 9月 | 49 | 18 | 10 | 6 | 2 | 2 | 0 | 2 |
| 26年 10月 | 42 | 14 | 9 | 7 | 9 | 0 | 0 | 3 |

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

| 項目 年月 | 鉱工業生産指数(季節調整済) | | | | 公共工事請負金額 | | | 新設住宅着工戸数 | | |
|----------|------------------|------|-----------------|------|----------------------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | 兵庫県 (22年=100) | | 全国 (22年=100) | | 兵庫県 | | 全国 | 兵庫県 | | 全国 |
| | 指数 | 前月比 | 指数 | 前月比 | 金額 | 前年比 | 前年比 | 戸数 | 前年比 | 前年比 |
| | | % | % | (億円) | % | % | (戸) | % | % | |
| 25年 1月 | 97.6 | 0.3 | 94.0 | 0.3 | 183 | 26.5 | 6.7 | 2,155 | -23.7 | 5.0 |
| 2月 | 97.1 | -1.3 | 94.8 | 0.6 | 120 | -7.3 | -4.8 | 2,607 | 12.7 | 3.0 |
| 3月 | 96.5 | 3.2 | 95.1 | 0.9 | 219 | -12.4 | -11.7 | 2,732 | -6.5 | 7.3 |
| 4月 | 92.5 | -0.8 | 95.7 | 1.7 | 336 | -9.4 | 128.6 | 2,443 | -5.3 | 5.8 |
| 5月 | 92.6 | -0.9 | 97.7 | 1.9 | 329 | 70.8 | 24.8 | 2,632 | 2.0 | 14.5 |
| 6月 | 95.5 | 1.1 | 95.0 | -3.1 | 342 | 28.6 | 21.7 | 2,939 | 11.7 | 15.3 |
| 7月 | 100.3 | 3.3 | 97.6 | 3.4 | 339 | 56.1 | 29.4 | 3,100 | 5.5 | 12.0 |
| 8月 | 94.0 | -5.5 | 97.1 | -0.9 | 272 | 52.9 | 7.9 | 2,735 | -11.8 | 8.8 |
| 9月 | 97.6 | 3.5 | 98.6 | 1.3 | 502 | 100.6 | 29.4 | 2,759 | 8.9 | 19.4 |
| 10月 | 100.6 | 2.0 | 99.2 | 1.0 | 364 | 35.3 | 3.5 | 3,719 | 34.8 | 7.1 |
| 11月 | 100.4 | 0.0 | 99.5 | 0.1 | 313 | 8.1 | 4.9 | 4,017 | 44.5 | 14.1 |
| 12月 | 104.4 | 1.3 | 100.0 | 0.9 | 241 | 25.6 | 7.5 | 4,238 | 32.7 | 18.0 |
| 26年 1月 | 106.3 | 3.0 | 103.9 | 3.8 | 157 | -14.2 | 28.8 | 2,504 | 16.2 | 12.3 |
| 2月 | 103.7 | -2.9 | 101.5 | -2.3 | 193 | 60.5 | 3.7 | 2,789 | 7.0 | 1.0 |
| 3月 | 103.1 | -0.6 | 102.2 | 0.7 | 263 | 20.2 | 18.1 | 2,545 | -6.8 | -2.9 |
| 4月 | 101.5 | -1.5 | 99.3 | -2.8 | 554 | 64.6 | 10.0 | 2,719 | 11.3 | -3.3 |
| 5月 | 100.6 | -0.9 | 100.0 | 0.7 | 331 | 0.5 | 14.4 | 2,491 | -5.4 | -15.0 |
| 6月 | 98.3 | -5.6 | 96.6 | -3.4 | 342 | 0.1 | 14.4 | 2,919 | -0.7 | -9.5 |
| 7月 | 100.2 | 1.8 | 97.0 | 0.4 | 374 | 10.6 | 11.4 | 2,067 | -29.2 | -14.1 |
| 8月 | 96.8 | -3.7 | 95.2 | -1.9 | 233 | -14.5 | 7.9 | 4,167 | 52.4 | -12.5 |
| 9月 | 98.0 | 0.9 | 98.0 | 2.9 | 362 | -27.8 | 5.0 | 2,948 | 6.9 | -14.3 |
| 10月 | | | | | 344 | -5.4 | 3.2 | | | |
| 11月 | | | | | | | | | | |
| 12月 | | | | | | | | | | |
| 資料 | 兵庫県統計課 | | 経済産業省 | | 西日本建設業保証(株) 兵庫県支店 | | | 兵庫県住宅地課 | | 国土交通省 |

* p は速報値 r は確報値

| 項目 年月 | 乗用車新車登録台数 (含む軽自動車) | | | 百貨店売上高 | | | 輸出入状況(神戸港) | | | |
|----------|-----------------------|-------|-------|----------|-------|-------------|------------|-------|---------|------|
| | 兵庫県 | | 全国 | 兵庫県 | | 全国 (既存店) | 輸出 | | 輸入 | |
| | 台数 | 前年比 | 前年比 | 金額 | 前年比 | 前年比 | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 |
| | (台) | % | % | (億円) | % | % | (億円) | % | (億円) | % |
| 25年 1月 | 13,378 | -6.2 | -7.4 | 192 | 4.6 | 0.3 | 3,522 | 7.4 | 2,371 | 0.8 |
| 2月 | 16,941 | -7.9 | -8.1 | 143 | -0.9 | 0.7 | 3,862 | -11.7 | 2,058 | 14.5 |
| 3月 | 21,468 | -13.9 | -11.0 | 176 | 3.5 | 4.0 | 5,051 | 3.5 | 2,235 | 0.3 |
| 4月 | 11,979 | 2.1 | 0.7 | 160 | -2.9 | -0.4 | 4,459 | 1.4 | 2,504 | 16.4 |
| 5月 | 12,231 | -5.0 | -8.7 | 157 | -4.5 | 2.8 | 4,194 | 6.6 | 2,625 | 11.2 |
| 6月 | 15,343 | -9.2 | -12.5 | 165 | 1.1 | 7.5 | 4,515 | 2.2 | 2,327 | 11.5 |
| 7月 | 15,195 | -7.3 | -9.7 | 155 | -7.8 | -2.2 | 4,379 | 3.3 | 2,638 | 18.2 |
| 8月 | 11,926 | 1.4 | -1.6 | 145 | -3.6 | 3.0 | 4,342 | 7.7 | 2,474 | 9.6 |
| 9月 | 17,366 | 14.1 | 18.1 | 144 | -1.4 | 3.0 | 4,382 | 2.6 | 2,600 | 27.3 |
| 10月 | 13,869 | 21.2 | 18.4 | 158 | -5.8 | -0.4 | 4,507 | 11.8 | 2,644 | 14.1 |
| 11月 | 14,661 | 22.0 | 16.7 | 183 | -0.9 | 2.6 | 4,293 | 13.0 | 2,499 | 10.1 |
| 12月 | 13,905 | 22.6 | 26.5 | 251 | -2.7 | 1.9 | 4,653 | 4.7 | 2,495 | 16.7 |
| 26年 1月 | 17,055 | 27.5 | 30.6 | 187 | -2.7 | 3.2 | 3,543 | 0.6 | 2,984 | 25.9 |
| 2月 | 20,071 | 18.5 | 18.8 | 147 | 2.8 | 2.9 | 4,442 | 15.0 | 2,106 | 2.3 |
| 3月 | 25,740 | 19.9 | 16.7 | 223 | 26.8 | 25.3 | 4,845 | -4.1 | 2,639 | 18.1 |
| 4月 | 10,732 | -10.4 | -5.1 | 135 | -15.4 | -10.1 | 4,564 | 2.4 | 2,601 | 3.9 |
| 5月 | 11,461 | -6.3 | -1.3 | 151 | -3.7 | -2.1 | 4,331 | 3.2 | 2,600 | -0.9 |
| 6月 | 14,336 | -6.6 | 0.1 | 159 | -3.5 | -2.4 | 4,520 | 0.1 | 2,543 | 9.2 |
| 7月 | 14,963 | -1.5 | -2.6 | 178 | -4.7 | -0.4 | 4,609 | 5.2 | 2,658 | 0.7 |
| 8月 | 10,857 | -9.0 | -9.5 | 144 | -0.5 | 2.0 | 4,498 | 3.6 | 2,459 | -0.6 |
| 9月 | 17,618 | 1.5 | -3.2 | 142 | -1.6 | 1.7 | r 4,478 | 2.2 | r 2,665 | 2.5 |
| 10月 | 12,823 | -7.5 | -7.4 | 157 | -1.1 | | p 5,039 | 11.8 | p 2,828 | 6.9 |
| 11月 | | | | | | | | | | |
| 12月 | | | | | | | | | | |
| 資料 | 自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会 | | | 兵庫県百貨店協会 | | 近畿経済 産業局 | 神戸税関 | | | |

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

| 項目 年月 | 有効求人倍率 (パートを含む) | | 県下常用労働者数 (30人以上,月末推計) | | 県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上) | | 消費者物価指数 (22年=100) | | | |
|----------|--------------------|------|--------------------------|----------|--------------------------|----------|-------------------|----------|-------|----------|
| | 兵庫県 | 全国 | 全産業 (千人) | 前年比 % | 指数 (22年=100) | 前年比 % | 神戸市 | | 全国 | |
| | | | | | | | 指数 | 前年比 % | 指数 | 前年比 % |
| 25年 1月 | 0.70 | 0.84 | 1,040 | -1.2 | 99.4 | 0.7 | 98.7 | -0.9 | 99.3 | -0.3 |
| 2月 | 0.71 | 0.85 | 1,035 | -0.4 | 99.8 | 0.9 | 98.7 | -1.4 | 99.2 | -0.7 |
| 3月 | 0.71 | 0.86 | 1,032 | -0.2 | 100.5 | 0.4 | 99.1 | -1.3 | 99.4 | -0.9 |
| 4月 | 0.74 | 0.89 | 1,043 | -0.9 | 101.6 | 1.1 | 99.3 | -1.0 | 99.7 | -0.7 |
| 5月 | 0.76 | 0.92 | 1,047 | -0.3 | 100.7 | 1.9 | 99.9 | -0.3 | 99.8 | -0.3 |
| 6月 | 0.76 | 0.92 | 1,051 | 0.0 | 101.1 | 0.9 | 100.0 | 0.2 | 99.8 | 0.2 |
| 7月 | 0.76 | 0.94 | 1,053 | 0.0 | 100.4 | 0.4 | 100.1 | 0.5 | 100.0 | 0.7 |
| 8月 | 0.78 | 0.95 | 1,050 | 0.0 | 100.0 | 0.4 | 100.2 | 0.3 | 100.3 | 0.9 |
| 9月 | 0.76 | 0.95 | 1,046 | -0.5 | 100.2 | 0.9 | 100.5 | 0.7 | 100.6 | 1.1 |
| 10月 | 0.77 | 0.98 | 1,048 | 0.1 | 100.8 | 1.5 | 100.7 | 1.2 | 100.7 | 1.1 |
| 11月 | 0.78 | 1.00 | 1,051 | 0.2 | 101.0 | 1.2 | 100.7 | 1.8 | 100.8 | 1.5 |
| 12月 | 0.82 | 1.03 | 1,050 | 0.3 | 101.7 | 1.3 | 100.8 | 1.9 | 100.9 | 1.6 |
| 26年 1月 | 0.83 | 1.04 | 1,043 | 0.4 | 100.4 | 1.0 | 100.3 | 1.6 | 100.7 | 1.4 |
| 2月 | 0.86 | 1.05 | 1,039 | 0.5 | 100.6 | 0.8 | 100.4 | 1.7 | 100.7 | 1.5 |
| 3月 | 0.85 | 1.07 | 1,039 | 0.4 | 101.1 | 0.6 | 100.9 | 1.8 | 101.0 | 1.6 |
| 4月 | 0.87 | 1.08 | 1,050 | 0.3 | 102.5 | 0.9 | 102.4 | 3.1 | 103.1 | 3.4 |
| 5月 | 0.88 | 1.09 | 1,050 | -0.2 | 101.9 | 1.2 | 102.9 | 3.0 | 103.5 | 3.7 |
| 6月 | 0.88 | 1.10 | 1,049 | -0.2 | 102.5 | 1.4 | 102.8 | 2.8 | 103.4 | 3.6 |
| 7月 | 0.89 | 1.35 | 1,049 | -0.5 | 101.6 | 1.2 | 102.9 | 2.8 | 103.4 | 3.4 |
| 8月 | 0.89 | 1.39 | 1,701 | -0.4 | 101.6 | 1.2 | 103.1 | 2.9 | 103.6 | 3.3 |
| 9月 | 0.90 | 1.09 | 1,045 | 0.0 | 101.1 | 0.9 | 103.4 | 2.9 | 103.9 | 3.2 |
| 10月 | | | | | | | 103.1 | 2.4 | 103.6 | 2.9 |
| 11月 | | | | | | | | | | |
| 12月 | | | | | | | | | | |
| 資料 | 兵庫県労働局 | | 兵庫県統計課 | | | | 兵庫県統計課 | | 総務省 | |

| 項目 年月 | 国内企業物価指数 (H24.5より22年=100) | | 県下金融機関 貸出金残高 | | 貸出約定 平均金利 | 県下企業倒産(負債1,000万円以上) | | | | |
|----------|------------------------------|----------|-----------------|----------|--------------|---------------------|-----|----|---------|------|
| | 全国 | | 金額 | | | 全国銀行 | 件数 | 金額 | 地域別倒産件数 | |
| | 指数 | 前年比 % | (各期末) | 前年比 % | (年%) | | | | (件) | (億円) |
| 25年 1月 | 100.5 | -0.4 | 150,340 | 0.1 | 1.358 | 51 | 65 | 13 | 19 | 19 |
| 2月 | 101.0 | -0.1 | 150,096 | 0.4 | 1.346 | 47 | 34 | 9 | 21 | 17 |
| 3月 | 101.1 | -0.5 | 152,787 | 0.4 | 1.325 | 47 | 25 | 16 | 15 | 16 |
| 4月 | 101.5 | 0.1 | 150,606 | 0.2 | 1.321 | 45 | 69 | 13 | 18 | 14 |
| 5月 | 101.6 | 0.6 | 150,286 | 0.0 | 1.319 | 48 | 29 | 19 | 20 | 9 |
| 6月 | 101.6 | 1.2 | 151,520 | 0.6 | 1.303 | 34 | 341 | 9 | 9 | 16 |
| 7月 | 102.2 | 2.2 | 150,656 | 0.1 | 1.296 | 38 | 58 | 17 | 7 | 14 |
| 8月 | 102.4 | 2.3 | 151,104 | 0.6 | 1.291 | 42 | 42 | 14 | 14 | 14 |
| 9月 | 102.6 | 2.2 | 152,378 | 0.4 | 1.291 | 54 | 34 | 19 | 10 | 35 |
| 10月 | 102.5 | 2.5 | 151,258 | 1.0 | 1.277 | 49 | 47 | 17 | 11 | 21 |
| 11月 | 102.5 | 2.6 | 152,669 | 1.7 | 1.271 | 48 | 157 | 20 | 15 | 13 |
| 12月 | 102.8 | 2.5 | 153,631 | 1.5 | 1.258 | 33 | 41 | 14 | 6 | 13 |
| 26年 1月 | 103.0 | 2.5 | 152,338 | 1.3 | 1.254 | 36 | 38 | 11 | 6 | 19 |
| 2月 | 102.8 | 1.8 | 152,315 | 1.5 | 1.250 | 43 | 33 | 17 | 8 | 18 |
| 3月 | 102.8 | 1.7 | 155,384 | 1.7 | 1.234 | 46 | 37 | 23 | 11 | 12 |
| 4月 | 105.7 | 4.1 | 152,315 | 1.1 | 1.233 | 49 | 47 | 18 | 15 | 16 |
| 5月 | 106.1 | 4.4 | 153,310 | 2.0 | 1.229 | 36 | 56 | 13 | 14 | 9 |
| 6月 | 106.3 | 4.6 | 152,718 | 0.8 | 1.222 | 52 | 136 | 20 | 17 | 15 |
| 7月 | 106.6 | 4.3 | 152,445 | 1.2 | 1.219 | 46 | 64 | 19 | 14 | 13 |
| 8月 | 106.4 | 3.9 | 152,961 | 1.2 | 1.214 | 33 | 19 | 8 | 11 | 14 |
| 9月 | 106.3 | 3.5 | 153,780 | 0.9 | 1.202 | 49 | 54 | 18 | 19 | 12 |
| 10月 | 103.9 | 3.2 | | | | 42 | 67 | 14 | 9 | 19 |
| 11月 | | | | | | | | | | |
| 12月 | | | | | | | | | | |
| 資料 | 日本銀行 | | | | | (株)東京商工リサーチ 神戸支店 | | | | |

* p は速報値 r は確報値